

2026年度
受講生募集



QBICってなに?
トライアル/公式サイト

“解” のない時代

転換期の社会に求められる力を培うための
産学連繫型教育プログラム：QBIC（キューピック）

Question-Based Innovation and Career education program for societal transition





転換期の社会に求められる力を培うための 産学連繫型教育プログラム：QBIC（キュービック）

Question-Based Innovation and Career education program for societal transition



「問い合わせる力」と「学び続ける力」



Question

多様なミカタ／多面的な捉え方による「問い合わせ」の創出

re-Build of Question & prototyping

「問い合わせ」の実践によって「解のない」時代への向き合い方を学び取る

self-Improvement

変化に挑戦する姿勢と自信を身に付ける

Continuous learning

転換期の社会に必要な教養力を学びあうことで培う

解のない時代と言われるほど、予測困難であり前例が通用しない転換期を迎えた現代社会。これまでの連續的な成長感を求める思考ではなく、突然訪れる不連続な社会にも対応していくための思考が必要になります。そのためには、何が問題なのかを深く思考するための「問い合わせる力（問題発見／設定力）」と、自身の学びによって不連続性を繋げて行くことを志向した「学び続ける力」が求められます。

これらの力を培うためにQBICプログラムでは、「産」と「学」が連繫したリベラルアーツ教育とキャリア教育が融合した2つのプログラムを実践し、リベラルアーツに支えられた思考力と自らのキャリア観にもとづくこれから時代の教養力を醸成します。

01

自らの視点で社会中の問題を
再定義（問題発見）する

Step-up
プログラム

問い合わせの創出

自らが生きる未来社会を描きつつ、現代の社会問題に対してチーム内での徹底的な議論を行うことで、多様な視点から「問い合わせる」ことを目標に、これからの時代の教養力を身につけるためのプログラム。良い「問い合わせ」は良い「学び」から生まれることを学ぶ。

実施科目

大阪公立
大学

「キャリアと実践1」
(総合教養科目、キャリアデザイン科目)
配当年次：1～2年次、後期集中

大阪大学

「キャリアデザインと社会実装I」
(全学共通教育科目 アドヴァンスト・セミナー)
後期集中

02

他者との学び合いを中心に
「問い合わせ」を社会に対して実践する

Jump-up
プログラム

問い合わせの実践

事例分析を土台にSDGsなどの社会問題に対する自ら(チーム)のミカタで解像度を上げていくことで、社会において必要とされる「問い合わせ」と課題解決策を実践ベースで考え抜くプログラム。良い課題解決策は、良い「問い合わせ」から導かれる学ぶことを学ぶ。

実施科目

大阪公立
大学

「キャリアと実践2」
(総合教養科目、キャリアデザイン科目)
配当年次：2～3年次、前期集中

大阪大学

「キャリアデザインと社会実装II」
(全学共通教育科目 アドヴァンスト・セミナー)
前期集中

関西大学

「キャリア形成と社会実践」
(共通教養科目 自己形成科目群 チャレンジ科目)
春学期集中



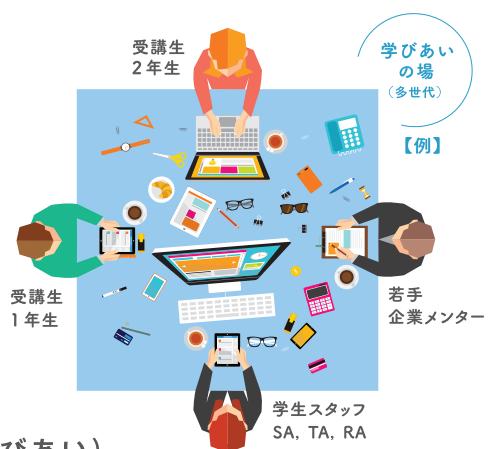
4つの観点から、未来社会に対応するための教養力を醸成していくことを目的に、「問い合わせ立てる力」「学び続ける力」を育成していきます。



「問い合わせ立てる力」（「問い合わせ立て」にむけた教養力の育成）

これからの中社会において必要とされる良いソリューションは良い「問い合わせ」から導かれるにに鑑み、プログラム全体では4つのプロセスを実践することで、これらの社会において必要な力を培います。この一連の過程を通して、これからの社会において必要となる「問い合わせ」を研ぎ澄ましていくところに挑戦します。

- 1 教員や社会人メンターによる支援と分野を超えた学生同士の対話により問題の切り口に対する多様なミカタを獲得する
- 2 キャリア観から導かれる未来のビジョンを描く
- 3 リサーチクエスチョン（仮説）を立てる
- 4 未来社会に向けた「問い合わせ」を設定する



「学び続ける力」（共創による学びあい）

産学連繋により、世代や立場が多様なメンバーで構成される学びを実践する場を共創します。受講生、学生スタッフ、教員、社会人など、立場が異なる様々なメンバーが参画することで普段の授業では交わらない他者と切磋琢磨し世代を超えた学び合いから「学び続ける力」を醸成していきます。

QBICプログラムは、多様なメンバーによる学び合いの場を形成（共創）し、各自の成長を重視しながら世代間の学びの循環を目指しています。大学1～2年次生にとって、このプログラムは高校から大学、社会への学びの転換点となり、一貫した学びを通じて「学び続ける力」を育むことを期待しています。また、多様なメンバーが集まり、社会問題に対して多角的な視点から未来を考え、共創の場を形成することも重要な目的です。

QBIC プログラム
成果動画



2024 年度



2023 年度

2026年度 受講生募集

転換期の社会に求められる力を培うための
産学連繫型教育プログラム：



Question-Based Innovation and Career education program for societal transition (キュービック)

「問い合わせる力」と「学び続ける力」を伸ばす



『キャリアと実践』



失敗すること、
考え方直すことの
大切さを学ぶ場所

終わった後の
達成感が半端ない

この授業を
ひとことで
表現すると！

「問う」という
ことへの入り口

自由と成長

「キャリアと実践」で得た
知識・思考法・経験はこれ
から生きていく上で重要な
ものになります！ この
授業に興味を持つ方の他、
何か成し遂げたいと思う
方、何か変わりたいと思う
方、キャリアというものに
触れたい方に是非是非お
勧めします！！

とても大変な期間になると思
います。しかし、この期間は今
まで体験したことのないもの
になり、社会人メンターさんか
らの言葉はこれから生きてい
く中でとてもためになります。

自分で作る
ジェットコースター

鳥兎勿勿

しんどいけど、
きっと成長できる！

超忙しいけど
ハイリターン

この授業を受講するにはそれなりの
覚悟がいると思います。どのような
覚悟だとしても、主体的に学んでい
こうとする姿勢がとても大切です。
少しでも迷っているのならば、一歩
踏み出して受講してみてください！
この授業でしか得られない経験がた
くさんあります。

成長したいという意欲
がある人にはもってこいの授業です。きっと
最後には「楽しかった！」と言えるようにな
ります。社会に散らばっ
ている問題を自ら手に
とって考える力を、こ
こで磨きませんか。



最後までやり遂げて
こその授業

単位は他の授業でも取れます
が、この授業でしか得られない学び
がたくさんあります。

QBICプログラム 2026年度スケジュール

※実施日程が変更になる場合があります。プログラムの詳細は、大学のシラバス等で確認をしてください。

自らの視点で社会の中の問題を再定義（問題発見）する

01 問いの創出	
Step-up プログラム	主な対象: 1~2年次
科目名	キャリアと実践1
第1回目	10月10日(土) 9:30~17:00
第2回目	10月30日(金) 9:30~17:00 <small>授業調整休講日</small>
第3回目	11月14日(土) 9:30~17:00
第4回目	12月12日(土) 9:30~17:00
第5回目	【最終報告会】 2月5日(金) 9:30~17:30 【振り返り】 2月6日(土) 9:00~12:30

他者との学び合いを中心に「問い合わせ」を社会に対して実践する

02 問いの実践	
Jump-up プログラム	主な対象: 2~3年次
科目名	キャリアと実践2
第1回目	4月18日(土) 9:30~17:30
第2回目	4月29日(祝・水) 9:30~17:30
第3回目	5月16日(土) 9:30~17:30
第4回目	6月13日(土) 9:30~17:30
第5回目	7月18日(土) 9:30~17:30



授業アンケートより

- | | | |
|---|---|--|
| <p>Q 授業を受けたことで感じる成長を教えてください！</p> <p>A チームでの経験を経て、自分には何が得意で何が不得意かがわかった。</p> <p>A 自分の意見を主張するだけではなく、チームを考えた言動により全体を円滑に回す力が得られた。</p> <p>A 様々な困難があり、それに対応することを迫られ、乗り越えられた。</p> | <p>Q メンターから学んだことを教えてください！</p> <p>A 物事を抽象的に一般論として分かりやすく説明する重要性。</p> <p>A ビジネスで重要な考え方や視点。</p> <p>A まず何を“優先するか”という考え方。</p> | <p>Q 授業で印象に残っていることは？</p> <p>A 私たち自身の考えがステレオタイプに囚われていることに気づいたこと。</p> <p>A 授業に参加した学生の多様性。自分だけだと選ぶことがなかっただろうテーマに取り組む機会を得ることが出来た。</p> <p>A 様々な視点をもったメンターの方々から指摘をたくさんもらえ刺激になった。</p> |
| <p>Q 授業を終えての満足度は？</p> <p>A 将来に繋がる知識、考え方、経験が出来、満足している。</p> <p>A プロジェクトや意思決定などの練習をすることができて良かった。</p> <p>A 成長には繋がったけど少し大変過ぎた。</p> | <p>Q 授業全体の感想は？</p> <p>A 4回目のワークショップが終わったあの達成感がとてもなく大きかった。</p> <p>A 授業の掲げる理想や自発的な行動に任せる授業スタイルが良かった。</p> <p>A 本当に大変すぎた授業だったが、ただ席に座って講義を受けているだけでは得られないものを頂けたなど感じた。</p> | <p>A 普段の授業では決して得られない、質の高い問い合わせを立てること、チームで社会問題について本気で考えるとてもよい機会だった。</p> <p>A 自分に何が足りていないとか、何が得意なのかななど、自分自身を知る機会でもあったと感じ、自己成長に繋がった。</p> |

※これまでの「キャリアと実践1～問い合わせの創出～」「キャリアと実践2～問い合わせの実践～」(大阪公立大学)の取り組みから

プログラム問い合わせ先

大阪公立大学 国際基幹教育機構／市田(いちだ) h.ichida@omu.ac.jp



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



関西大学
KANSAI UNIVERSITY



エッジソン・
マネジメント協会
EDISON MANAGEMENT
ASSOCIATION



一般財団法人
三菱みらい育成財団

QBICプログラム 2026年度スケジュール

※実施日程が変更になる場合があります。プログラムの詳細は、各大学のシラバス等で確認をしてください。

01

Step-up プログラム

問い合わせの創出

主な対象:1~2年次

大阪公立大学

大阪大学

科目名	キャリアと実践1	キャリアデザインと社会実装Ⅰ
第1回目	10月10日(土) 9:30~17:00	10月3日(土) 9:30~17:30
第2回目	10月30日(金) <small>授業調整休講日</small> 9:30~17:00	11月7日(土) 9:30~17:30
第3回目	11月14日(土) 9:30~17:00	12月5日(土) 9:30~17:30
第4回目	12月12日(土) 9:30~17:00	2月8日(月) 9:30~17:30
第5回目	【最終報告会】 2月5日(金) 9:30~17:30	
	【振り返り】 2月6日(土) 9:00~12:30	

主な対象:2~3年次

02

Jump-up プログラム

問い合わせの実践

大阪公立大学	大阪大学	関西大学
科目名	キャリアと実践2	キャリアデザインと社会実装II
第1回目	4月18日(土) 9:30~17:30	会場: 大阪公立大学 森之宮キャンパス
第2回目	4月29日(祝・水) 9:30~17:30	会場: 大阪公立大学 森之宮キャンパス
第3回目	5月16日(土) 9:30~17:30	会場: 関西大学 梅田キャンパス KANDI MeRISE
第4回目	6月13日(土) 9:30~17:30	会場: 大阪公立大学 森之宮キャンパス
第5回目	7月18日(土) 9:30~17:30	会場: 大阪大学 中之島センター

プログラム問い合わせ先

大阪公立大学 ▶国際基幹教育機構／市田（いちだ） h.ichida@omu.ac.jp
 大阪大学 ▶キャリアセンター／家島（いえしま） ieshima@career.osaka-u.ac.jp
 関西大学 ▶社会学部／杉本（すぎもと） h_sgmt@kansai-u.ac.jp

授業アンケートより



授業を受けたことで感じる成長を教えてください！



メンターから学んだことを教えてください！



授業全体の感想は？



得意分野を共有して頼り合うことで、苦しい局面でもチームを前に進ませることができた。
(2025年度・キャリア形成と社会実践・関西大)



相手の立場や前提から逆算して、伝える大切さを学んだ。
(2024年度・キャリアと実践1・大阪公立大)



大変だが自由度が高く、成長と経験が残る。
今後に活かせる学びが多い。
(2025年度・キャリア形成と社会実践・関西大)



「できない」より「やってくれた」に目を向け、人との向き合い方が変わった。
(2025年度・キャリアと実践2・大阪公立大)



的確なフィードバックで迷いが整理され、具体的な助言が今後の行動指針になった。
(2024年度・キャリアデザインと社会実装II・阪大)



キャリアと実践1での後悔と学びをキャリアと実践2で活かし、やり切って楽しめた。
終わって寂しいほど。
(2024年度・キャリアと実践2・大阪公立大)



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



関西大学
KANSAI UNIVERSITY



エッジソン・
マネジメント協会
EDISON MANAGEMENT
ASSOCIATION



一般財団法人
三菱みらい育成財団

本事業は、三菱みらい育成財団 大学・NPO等が行う「21世紀型教養教育プログラム」カテゴリー4助成事業（2023年度採択）の助成を受けて実施しています。